

産業分野

目標 ～世界に誇れる価値を生む地域産業の確立～

多様な担い手による、産業として魅力のある農林水産業の展開と、地域の特色ある農林水産資源を活かした活力ある農山漁村を目指します。

ものづくりをはじめ多様な分野の競争力ある事業者が集積し、業種・分野の枠にとられない新しい技術や魅力的な製品・サービスを生み出しながら、都市としてのブランド力を高め、姫路・播磨の経済成長と安定した雇用の実現を目指します。

【背景】

- 人口減少に伴い国内市場の縮小が懸念される中、TPP（環太平洋連携協定）やEPA（経済連携協定）の締結等による貿易の自由化や経済市場のグローバル化が進展しています。一方、令和2年（2020年）に入り、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大に伴い、ヒトやモノの移動が制限されたことにより経済活動が極端に停滞し、企業の事業継続や雇用に深刻な影響が出ています。
- 情報通信技術の急速な進化や流通環境の変化などにより、市民生活や産業構造が大きく変化する中、個人の価値観やライフスタイルの多様化により、働き方や消費者ニーズも多様化・複雑化しており、事業活動や雇用・労働を取り巻く環境は日々変化しています。
- 特に、地方圏においては、人口の東京一極集中や少子化の進行による生産年齢人口の減少により、人手不足や後継者不足が今後さらに深刻化することが見込まれています。
- 本市は、播磨の玄関口である姫路駅を中心とした交通結節機能や商業・業務機能などの都市機能が集積した都心部をはじめ、国際拠点港湾である姫路港や複数の自動車専用道路のインターチェンジを有する、播磨圏域の交流拠点として、圏域の持続的な経済成長に重要な役割を担っています。

（農林水産業関連）

- 本市は、平成18年（2006年）3月の市町合併により、県下でも有数の豊かな自然環境や多彩な農林水産物等の地域資源を有する都市（※1）となりましたが、それらを支える担い手の減少と高齢化（※2）が課題となっています。
- 耕作放棄地の増加や森林の荒廃進行、漁場環境の悪化など、農林水産業を取り巻く環境の悪化が全国的に進んでいます。
- 本市では、平成29年（2017年）3月に北部農山村地域活性化構想を策定し、北部農山村地域（夢前町・安富町）の活性化に取り組むとともに、前獲れ水産物のブランド化や直売所整備により消費拡大を促進するなど、農林水産業の振興を図っています。

（商工業関連）

- 本市には、鉄鋼、電気機械器具製造、化学工業を中心に、世界トップシェアを誇る大企業や技術力のある中小企業が多数集積しており、臨海部を中心に立地するエネルギー関連企業からの安定したエネルギー供給などの強みを活かし、製造品出荷額等が全国有数の規模（※3）を誇っています。
- 中心市街地では、姫路駅周辺整備が着実に進められ、駅前を中心に来街者や居住者が増加しており、整備完了後は、エリア全体を人々の交流により、消費や雇用等を生み出す空間として、さらに魅力を高めていく必要があります。

※1 兵庫県における本市の農林水産業の位置

順位	耕地面積		森林面積		漁獲量	
	(平成27年)	(単位:ha)	(平成27年)	(単位:ha)	(平成27年)	(単位:t)
1位	丹波市	5,650	宍粟市	58,668	姫路市	15,009
2位	豊岡市	5,010	豊岡市	55,217	淡路市	11,093
3位	姫路市	4,710	丹波市	37,162	香美町	6,036
4位	神戸市	4,430	養父市	35,582	新温泉町	4,670
5位	篠山市	4,390	朝来市	33,709	明石市	4,313
6位	南あわじ市	3,780	香美町	31,347	神戸市	3,600
7位	加西市	3,680	姫路市	30,598	豊岡市	2,941
8位	淡路市	3,240	丹波篠山市	28,174	南あわじ市	2,503

（資料）第65次兵庫農林水産統計年報より作成

※2 農林水産業就業者数等の推移

農業従事者数（販売農家）			
	平成22年	平成27年	増減
農業従事者数（人）	9,264	5,880	-3,384
うち65歳以上（人）	3,745	2,719	-1,026
うち65歳以上（%）	40.4	46.2	5.8

（資料）農林業センサスより作成

林業賃労働者数			
	平成20年	平成30年	増減
林業賃労働者数（人）	91	53	-38
うち60歳以上（人）	30	12	-18
うち60歳以上（%）	34.1	22.6	-11.5

（資料）兵庫県林業統計書より作成

漁業就業者数			
	平成20年	平成30年	増減
漁業就業者数（人）	881	800	-81
うち65歳以上（人）	217	213	-4
うち65歳以上（%）	24.7	26.7	2.0

（資料）漁業センサスより作成

※3 全国における本市の商工業の位置

工業（従業員4人以上）			
順位	製造品出荷額等		従業員数
	16位	17位	
1	東京都23区	東京都23区	138,638
2	川崎市	大阪市	114,974
3	横浜市	名古屋市	113,454
4	大阪市	大阪市	95,801
5	横浜市	横浜市	90,938
6	大阪市	京都市	70,213
7	堺市	浜松市	68,952
8	名古屋市	神戸市	63,907
9	神戸市	神戸市	55,734
10	広島市	堺市	50,347
11	四日市市	八尾市	48,662
12	太田市	川口市	48,607
13	東京都23区	福山市	48,345
14	京都市	広島市	48,008
15	大分市	川崎市	47,384
16	姫路市	新潟市	47,129
17	岡崎市	姫路市	47,070
18	安城市	北九州市	46,734
19	千葉市	さいたま市	45,711
20	北九州市	相模原市	42,219
21	河内町	札幌市	40,126
22	田原市	1,999,160	38,982
23	静岡市	1,978,079	38,422
24	浜松市	1,950,092	37,550
25	福山市	1,856,741	36,580
26	西海市	1,707,545	36,568
27	刈谷市	1,634,286	36,450
28	岡崎市	1,525,807	36,074
29	岡崎市	1,510,142	34,342
30	和歌山市	1,502,336	33,484

（資料）経済産業省「平成30年工業統計調査」

商業（卸売業+小売業）			
順位	年間商品売価額		従業員数
	31位	23位	
1	東京都23区	東京都23区	1,239,446
2	大阪市	大阪市	404,846
3	名古屋市	名古屋市	260,130
4	横浜市	横浜市	223,556
5	横浜市	福岡市	155,378
6	札幌市	札幌市	153,927
7	仙台市	札幌市	136,083
8	広島市	神戸市	113,232
9	神戸市	広島市	109,489
10	京都市	仙台市	108,514
11	さいたま市	8,993	92,141
12	千葉市	さいたま市	74,184
13	堺市	静岡市	68,805
14	岡崎市	新潟市	68,712
15	高崎市	千葉市	66,932
16	川崎市	岡崎市	62,724
17	静岡市	静岡市	61,885
18	浜松市	熊本県	58,204
19	北九州市	鹿児島市	53,636
20	京都市	熊本県	53,344
21	宇都宮市	茨城県	48,614
22	鹿児島市	5,104	45,846
23	高松市	5,044	44,375
24	熊本県	4,862	41,766
25	堺市	4,794	40,838
26	吹田市	1,919,870	40,556
27	東大阪市	1,797,420	40,395
28	堺市	1,754,618	38,513
29	福山市	1,734,552	38,444
30	堺市	1,685,683	37,483
31	姫路市	1,634,231	37,483

（資料）総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」